

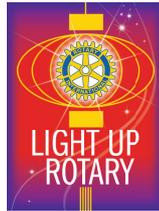
2014-15年度 国際ロータリーテーマ

「ロータリーに輝きを」

RI会長 ゲイリー C.K. ホアン

12月は家族月間です

国際ロータリー 第2580地区  
2014-15年度 ガバナー 鈴木 孝雄



「ひとりひとりの『ロータリー・モメント』を!!!」

東京武蔵村山ロータリークラブテーマ  
第43代クラブ会長 比留間 孝司

本日の例会  
クリスマス会  
(立川グランドホテル)

第2066回  
例会  
2014. 12. 20

次回例会案内【1月7日(水)】  
全員クラブ協議会  
(新年例会)

第2065回例会報告

(2014年12月17日)

司会 内野 均 SAA (会場運営委員長)

## 点 鐘

(比留間 孝司 会長)

## 斉 唱

それぞこそロータリー  
ソングリーダー  
(志々田 陽介 会員)

## 来客紹介

### 〇ビジター

野澤 秀夫 様 (東京東村山RC)



## 会務報告

(比留間 孝司 会長)

- 〇事務総長が自転車レースでポリオ基金活動  
※11月22日アリゾナ州で開催のレースに参加  
ポリオ撲滅活動に参加、ポリオの寄付に応援  
をお願いします。
- 〇米山奨学会より  
・米山寄付は税制優遇を受けられます。  
・ハイライトよねやま177を頂きました。
- 〇サンパウロ国際大会アンケートが届いています。
- 〇小林和男様、三橋貴明様よりメールを頂いて  
います。
- 〇商工会より賀詞交歓会の案内を頂きました。  
・1月8日(土)午後5時～  
・平成の間

### 〈半期を振り返って〉

今年度スタートにあたって例会場での例会を中  
心にしていきたい話をしましたが、ここまで大  
過なく進めて来れたこと、特に会員卓話等中心  
にご協力いただいたこと有難く思っております。  
今後もよろしく願いいたします。特に会員増  
強において田中前会長にはご尽力いただきあり  
がとうございます。最近分区連絡会や地区行事  
等で、武蔵村山RCは活気があって良いと多く  
の方に言われることが多く、田中年度からの実  
績が出ていること改めてお礼申し上げます。

会務報告続き…

とはいえ、ロータリーをめぐる環境は決して良  
いとは思えません。会合等に参加してみると、  
若手の経営者たちは対外的に本業以外の社会貢  
献活動を行っており、彼らにロータリーの存在  
価値的な優位性は低くなっている気がします。  
考え方は多様ですが、ロータリーとは何かを対  
外的に発信するには、職業奉仕、クラブ奉仕等  
のそれぞれの中身を理解してもらう必要がある  
と思っています。経済人の話を聞くなどして刺  
激を受けることも良いでしょうし、ひとり一人  
がロータリー以外の見識を取り入れて、考え方を  
ブラッシュアップしていく必要があると感じて  
います。前回のIMの時にこれからのロータ  
リーについてディスカッションをしたとき、こ  
こ10年、非営利団体のボランティアの精神が阪  
神大震災以降、東日本大震災で加速し、若い人  
中心に仕事以外のことを何かやっ行ってこう、そ  
れを仕事にフィードバックさせ仕事を磨いてい  
こうという考え方が浸透し始めてきているので、  
考え方を見直していく時期であると話されてい  
たことに同感しています。文科省の調査でも若  
い世代では、利他の精神をごく自然に考えてい  
るようになってきている、彼らが社会人として  
組織の中堅になったり、事業承継して経営者に  
なったときに「自分たちの奉仕は何か」を考え、  
ロータリーが思いつくかが今後の課題である  
と思っています。当クラブは活気がありますが、  
将来を見据え、ロータリーとは何かを考えてい  
けるような企画を下半期もしていきたいと思  
っていますので引き続きよろしく願いいたしま  
す。

## 幹事報告

(網代 稔 幹事)

〇なし

## ニコニコBOX

(小林 邦雄 親睦委員)

- ☆野澤秀夫様(東村山RC)年末おしつまりました。あわただ  
しい年の瀬、事故や怪我のないよう祈ります。
- ☆比留間孝司会長、網代稔幹事⇒東村山RCより野澤秀夫様、  
本日はようこそお越しくございました。ごゆっくりどうぞ!!

◆今回計 6,000円 累計841,000円



## 出席報告

(新海 正人 会場運営委員)

会員数	出席者数	出席率	前々回出席率修正
34名	27名	90.00%	90.32%→93.55%

○メーキャップ(第2063回例会)  
波多野 稔 会員 (分区連絡会)

○出席免除会員  
栗原 高明 会員 網代 雅男 会員  
榎本 昭 会員 宮崎 恒夫 会員

## 委員会報告

クリスマス会について 嶋田 哲男 親睦委員長

○今週の土曜日12月20日、18時より立川グランドホテルにて、クリスマス会を開催します。余興のビートルズのコピーバンドのメンバーの一人が入院のためキャンセルとなってしまいましたが、ゲームによる豪華プレゼントを内容変更しましたので、ご承知おきください。会長幹事からも寄付をいただきましたのでプレゼントを楽しみにしておいてください。

## 会員卓話

清水 高彦 会員



私の生まれは長野県飯田市上久堅(50年位前に合併)で、武田信玄に伊那谷の城が全滅にされた中の一つ、何百年も歴史のあった、床山城、知久城主、今も名残に屋号、地名があり、以前野島親睦委員長時代に昼神温泉を企画していただいた天竜川の近くです。跡城は県立公園、神の峰として地域を象徴する場所となっています。見下ろすと天竜川、飯田市街が一望できる見晴らしの良い公園です。故郷の一字と、また字画を併せて「峰廣」と会社命名しました。

山村で産業が無いため、手に職をつけろと早くから言われていましたので東京オリンピック開催の5年前、1959年4月5日に東京の親方のところに出てきました。仕事は見て覚えろと再三言われ兄弟子も厳しい方だったので夜中にトイレで泣いたこともあり。皆さんにお配りした資料に記載しているのは最低限必要の道具です。最近はいち捨て鉋などありますが、私は道具には拘りをもっています。

建築と材木との関わりは、切り離すことのできない最も重要なものです。木は同じ材質でも山の地形、水、気候などにより年輪、木目、肌色、香り、硬さなど産地によって異なります。産地の杉・檜とオワセの杉・檜とは同じ等級でも木肌が全く違います。しかし、日本の建築には日本の材木がいちばん建物の使い勝手に合わせた古来の建築物が物語っています。湿気の多い日本に木造建築が多いのは、適した材木、吟味した当時の大工職人の技量だと思います。伊勢神宮の式年遷宮の制度は世界に誇るべき文化と技術であり、改めて日本の木造建築に誇りをもちたいと思います。

会員卓話続き…

建築業は業界の進歩で大型機械化、新建材の製品、施工法など時代の変化で大きく変わっていますが建築の技術の基は不変かと思えます。大手企業が困っているのは、既存建築、増築工事の墨付け職人に苦慮しているとのこと。最近では以前と違い増築現場が少なくなっていると感じます。私はその谷間で頑張っていますのでよろしくお願いいたします。

嶋田 哲男 会員



私は村山のロータリーでお世話になって早いもので4年目を迎えました。自己紹介は入会時にやらせていただいたので簡単な近況を話をさせていただいてから好きな伊豆の話をしていただいています。大学卒業後第一希望のメーカーに勤務し、仕事の大切さや大変さ、お金を稼ぐことは簡単ではないということを経験しました。その後、現在の会社に入社するわけですが、当時は資金繰りが苦しく、所得税や労働保険も払えず、手形は月商の4倍あったため手形を落とすための段取りなどが僕の仕事でした。6年計画で手形をなくし銀行から資金を借りることが出来るように計画し、5年で手形ゼロにできたこと、また会社を承継したときも債務超過でしたが5年計画で3年で達成できたことは仕事に対する自信に繋がりました。わが社についての誇りは社員の勤続年数が来年に入ると20年になることです。

親睦の行事もこれから本番です。皆様の参加で成り立つ行事ですので、親睦委員全員で頑張りますのでご協力お願いいたします。また米山奨学も担当していますので年が明けたら皆様に声をかけますので何卒ご協力お願いいたします。またロータリーに入会させていただいて村山に知り合いができたことは財産ですし、毎週参加させていただき楽しみにもなって、勉強にもなりますので仕事にも活かせるようにしていきたいと思っています。次に、伊豆の話をする。伊豆半島は、かつては南洋にあった火山島や海底火山の集まりで、プレートの上に伴い火山活動を繰り返しながら本州に衝突し誕生しました。アラビア半島やインド半島、朝鮮半島、房総半島や三浦半島も同じ状況からできたものです。因みに真鶴半島は溶岩が流れてきた半島です。写真で赤い線を入れていますが、ここが本州と伊豆半島がぶつかったところになっています。

浜と海がきれいなヒリソ浜を紹介。インターネットの普及で知れわってしまいましたが、サンゴもあり日本とは思えないところ。なぜ水がきれいかというと潮の流れがきつからとことで、船が監視しています。トイレがないことが難点ですが、島から10分で本土につき、1日千円で往復自由ですので不自由さは感じません。ここは遠いので、私は堂ヶ島の隣の浮島(ふとう)海岸に毎年行っています。ここもとても良いところですので興味のある方は詳細を話します。伊豆については詳しいと思っていますので何なりとお話ください。

◇ 創立 1972年7月8日 ◇ 承認 1972年7月20日

◇ スポンサークラブ 東京立川ロータリークラブ

◎ 会長 比留間 孝司 ◎ 幹事 網代 稔

○ 副会長 宮崎 茂夫 ○ 副幹事 倉内 淳

□ クラブ会報委員長 松村 慎一 副委員長 網代 雅男

委員 原田 友義、薄井 政光、波多野 晃夫、比留間 一義

◇ 例会場 西武信用金庫・村山支店 2階

〒208-0004 武蔵村山市本町 2-91-1

◇ 例会日 毎週水曜日 12:30~13:30

◇ クラブ事務局

〒208-0004 武蔵村山市本町 2-91-1

TEL 042(520)3251 FAX 042(520)3252

Eメールアドレス t-mmrc@crest.ocn.ne.jp